

# 探究科説明会 in2024

---

令和6年9月1日(日)

山梨県立甲府第一高等学校



# 探究科説明会 in2024

令和6年9月1日(日)  
山梨県立甲府第一高等学校



みなさんこんにちは！  
本日は2024年度探究科説明会にお越しいただきありがとうございます。  
と、言いたいところですが台風10号の影響で説明会は中止になってしまいました。  
そのため当日みなさんにお見せしようと思っていたスライドを公開します！

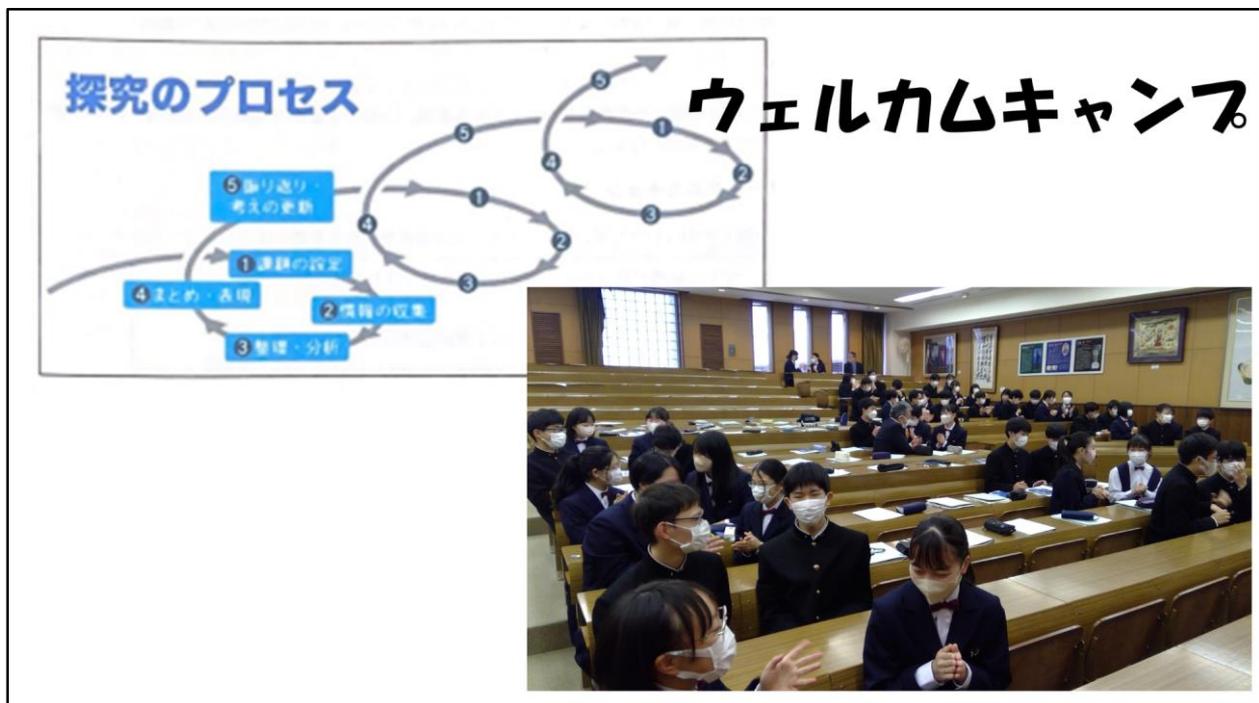
**探究科の行事**  
**探究科生の実態**  
**一高の行事**  
**探究活動紹介**

探究科の行事、探究科生の実態、一高の行事、探究活動、の4つを紹介します。



## 探究科の行事

まずは探究科の行事について紹介していきます。



探究科に入学してからの、探究のスタートラインとなる行事は、「ウェルカムキャンプ」です。キャンプという名前がついていますが、実際に火起こしや寝袋で寝るキャンプをするわけではなく、探究のテーマの設定の仕方や問いの立て方といった探究のプロセスを学ぶ1日になります。また、ウェルカムキャンプでは、初めましての友達とのディスカッションも行うため、お互いに仲を深められますよ。

## 企業訪問 & 外部の講師による講演会



続いて、1年次では企業訪問や外部講師による講演会があります。

私達も先日、長野県にある企業を訪問したばかりです。

このように、自分の身近な人だけでなく、外部の講師の方など実際に社会で働いている人と接点が得られることは、ほかの学校にはない一高探究科ならではの魅力です。

## 国際会議



WWL指定校となったため10月に「国際会議」を開催しています。

国際会議とは世界的な課題について高校生の視点から探究し、提言を行うものです。

今年のテーマは「農と自分」です。

芸術、ビジネス、キャリア、お米・日本人、戦争・貧困の5つの分科会に分かれてプレゼン、ディスカッションを行います。

海外の高校とオンラインで交流をしながら行うので、英語を使う場面も多いです！

また、その年のテーマにあった講師の先生をお招きし、講演をしていただいています。

# 研修旅行 in 台湾



2年生の12月には台湾へ4泊5日の研修旅行に行きます！



台湾の観光名所を現地の学生さんと一緒に散策します。



台湾の和平高校を訪れ、それまでの探究の成果を英語でプレゼンします。

# ブランドサミット



1年間の探究の集大成となるブランドサミットが3月に開催されます。1年生は日本語で、2年生は英語でプレゼンを行います。他校からのお客さんも多く、緊張しつつも充実した1日になると思います！



## 探究生の実態

それでは次に、知られざる探究科生の実態を  
明らかにしていきます

## 普通科との違い

### ①「探究活動」の内容が違う！

#### 総合的な探究

- ・ 個人探究の時間が多い
- ・ 校外活動は少ない
- ・ 既存の情報から自分の意見を導く

#### グローバル探究

- ・ SDGsをもとに分野選ぶ
- ・ グループ探究がメイン
- ・ 校外活動が多い
- ・ 企業や行政・大学などの関わりがある

まずは普通科と探究科の違いです  
探究活動の内容が違う、というのが大きな違いだと思います。

普通科の総合的な探究の時間と探究科のグローバル探究の一番の違いは、ずばり「情報を得る方法」です。

総合的な探究の時間では本やインターネットから既存の情報を入手し、それに対して自分の意見を導きますが、

グローバル探究の時間では実際に現場に行き、自分で情報を集めることから始まります。

私も現場に行くといつも新しい情報や気づきがあってとても楽しいです！

## ②WWLのプログラムがある！

### 留学生



ほかにも探究科の特徴としてはWWLに関わる事業が多い事が挙げられます。

WWLとは、ワールド・ワイド・ラーニング構築支援事業のことで、海外の高校との連携を重点的に行う機会が多く得られます。

その中でも留学生との交流では、英語でコミュニケーションをとるので英語を話す機会になり、何より外国のことをたくさん知れるのでとても楽しいです。

ここに写っているのは今年4月から8月までドイツから来ていたヨナ君です。

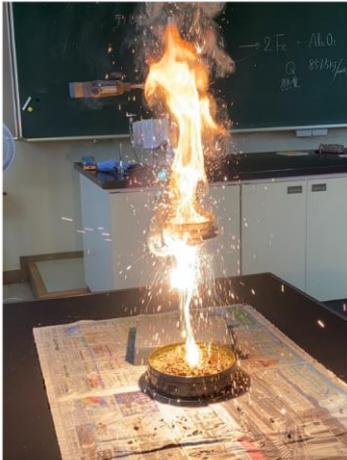
ヨナはとても長い期間留学に来ていたので、部活を一緒にやったり、学校帰りに遊びに行ったり、休みの日に富士急ハイランドに行ったりもしました。



**ここに写っているのも留学生たちです。一高には留学生が来るだけではなく、自分が留学するチャンスもたくさんあります。**

### ③探究科だけ受けられる授業がある！

#### 科学と人間生活



これは探究科だけが受ける「科学と人間生活」という科目です。

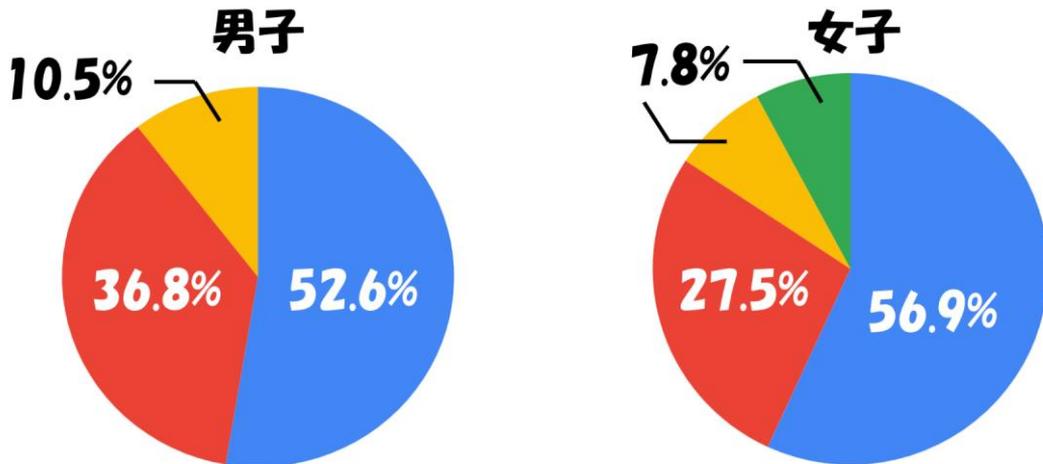
物理、化学、生物の分野にわかれて班を作り、自分たちのやりたい実験をやります。

理科が好きな人にとってはとても楽しい授業ですね！

このように一高探究科ではほかの高校にはない、そして普通科ともちょっと違う学校生活を送っています。

## 探究科生の部活状況

● 文化部のみ ● 運動部のみ ● 部活には入っていない ● 運動部と文化部



次に、皆さんも気になっているであろう探究科生の部活動について紹介していきます。こちらのグラフは、現在の探究科1. 2年生の部活動所属率を示したものです。グラフを見ると、9割以上の探究科生が部活に所属していて、文武両道を目指していることが伺えますね。

- 勉強と両立させるのは大変だけど**すごく楽しい**
- **友好関係**が広がる
- 無理に入る意味はないけど入っても**勉強はなんとかなる**
- **インスタ**に活動の様子を載せている部が多いので入部前に**チェック**するのがおすすめ
- 通学と部活の時間で帰宅がかない遅くなってしまい**疲れて気絶**するように眠っている
- **勉強時間の確保**がかない難しい

ここで、ア・カペラ部に所属している私達の様子を紹介します。  
ア・カペラ部は結構忙しいので、実際に両立はとても大変です。私は平日4日間部活があるため、その日は通学時間や授業の合間の休み時間を使って勉強をしています。  
また、オフの日や休日は、自分がゆっくり時間をかけて行いたい勉強に集中して取り組むようにしています。

私も同じように時間の使い方を工夫しています。  
そこまで大変な思いをするなら部活に入らなくても良いかもしれないと当初は思ったこともありましたが、ア・カペラ部に所属して、仲間と切磋琢磨しながら練習したり、歌で誰かに気持ちを届けたりすることを通して、部活でしか得られない自分自身の成長というものも実感することができています。(ホントに)

探究科生の部活動との付き合い方は、人それぞれで自由です。  
放課後の時間をすべて部活に使っている人もいれば、少し部活をやっている人、勉強や探究活動に時間を割いている人もいます。  
皆さんも、勉強を土台として自分はどう部活と付き合っていくのか、自分なりに想像し、良いスタイルを見つけてみてください。

## 授業の様子

1年6組

	月	火	水	木	金	U
1	芸術	言文化	理数	歴総	保健	理数
2	理数	理数	言文化	体育	理数	化学基
3	総英 I B	情報 I	芸術	総英 I A	DD I	歴総
4	総英 I A	現国	体育	言文化	G探4校時	
5	体育	科人	TT	現国	G探5校時	
6	理数	科人	DD I	情報 I	LHR	
7	化学基					

探究科である1年6組の一週間の時間割です。

(DD I は英語のディベート・ディスカッション、  
TTは英語のチームティーチングの授業です)

## 授業の様子



左は科学と人間生活、右は数学の授業の様子です。  
中学校と同じような教室で30人のクラスメートと  
一緒に授業を受けます

## 探究科生の進路

国立大学	私立大学
★ 東京大学	★ 慶応義塾大学
東京外国語大学	★ 早稲田大学
★ 横浜国立大学	★ 上智大学
★ 東北大学	★ 学習院大学
★ 名古屋大学	★ 青山学院大学

先ほど述べたように、探究科生は勉強と部活の両立ができていますが、実際に先輩たちはどのような進路を選択しているのでしょうか。

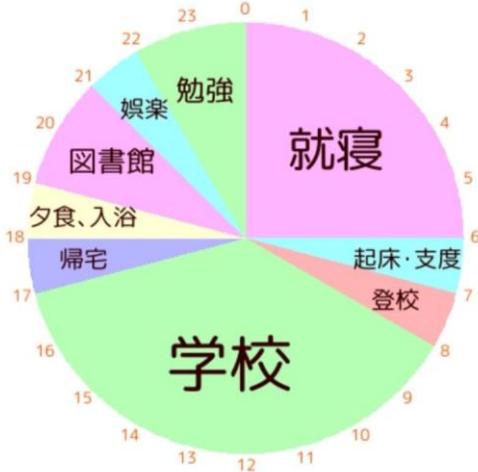
この春の卒業生の進路状況についてまとめたものがこちらです。

国公立大学、私立大学ともにレベルの高い大学への進学が多くみられ、自分の進路を実現していることが分かります。

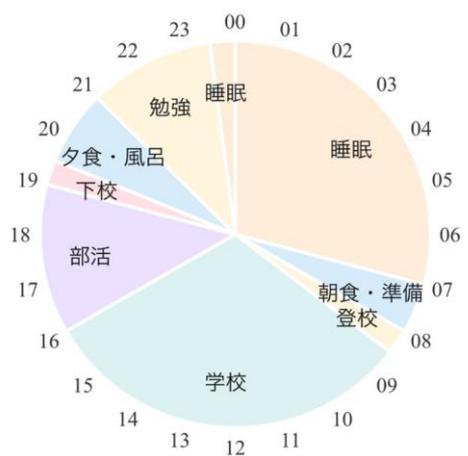
部活動や探究ともバランスを上手にとっている人が多いみたいです。

# 一日の過ごし方(平日) 1年生

## 部活なし



## 部活あり(野球部)



探究科1年生の平日の使い方です。



## 通学方法

例)探究科1年 Mさん

南アルプス→バス(40分)→竜王駅  
→甲府駅→自転車(10分)→一高



自転車の使用率が8割を超えている!



例)探究科1年 Rさん

敷島→自転車(35分)→一高

続いて、私たちの通学方法についてです。通学の方法ももちろん人それぞれですが、今回は2人の生徒に実際に通学の話聞いてみたので一例として紹介します。

まず、南アルプスから一高に通学している方です。南アルプスからバスで竜王駅まで乗って、竜王駅から甲府駅、駅からは自転車で一高まで通学しています。

そして二人目は、竜王から通学している人です。竜王から一高まで、自転車に40分乗って通学しています。

全体的には、甲府駅から自転車で通学する人が多いと思います。駐輪場は8割ほどどうまっている感じですよ。

## 日常の様子



こちらは昼食の様子です。教室では昼食を持参した人や校内の購買で購入した人がご飯を食べていますが、学食が別の場所があり、そこで食べる人もいます。

この写真は、3階にある「コモンスペース」で撮影したものです。ここは、みんなが利用できる場所です。食べ物、飲み物を購入したり休み時間にわいわい談笑したりしています。

また、コモンスペースには探究活動で作成した資料などが展示されることもあります。自分たちの成果を探究科だけでなく一高生みんなに知ってもらえるというのは嬉しいですね。



## 一高の行事

一高の行事を紹介します

# 一高祭準備



さてここからは一高の学園祭、一高祭についてです！

一高祭は一般公開していないのでここで少しでも楽しさや雰囲気が伝わればいいなと思います。では早速始めていきましょう！

まずは準備期間です。

一高祭には「一高祭準備期間」というものが2週間ほど設けられて部活動よりも準備を優先して追い込みをします。



準備は、各クラスごと様々な取り組みをしています。  
のこぎりや工具を使ったり、本格的に準備をしているクラスもあります！



全力で準備してふざけるところは全力でふざけます。



次に一高祭当日です。

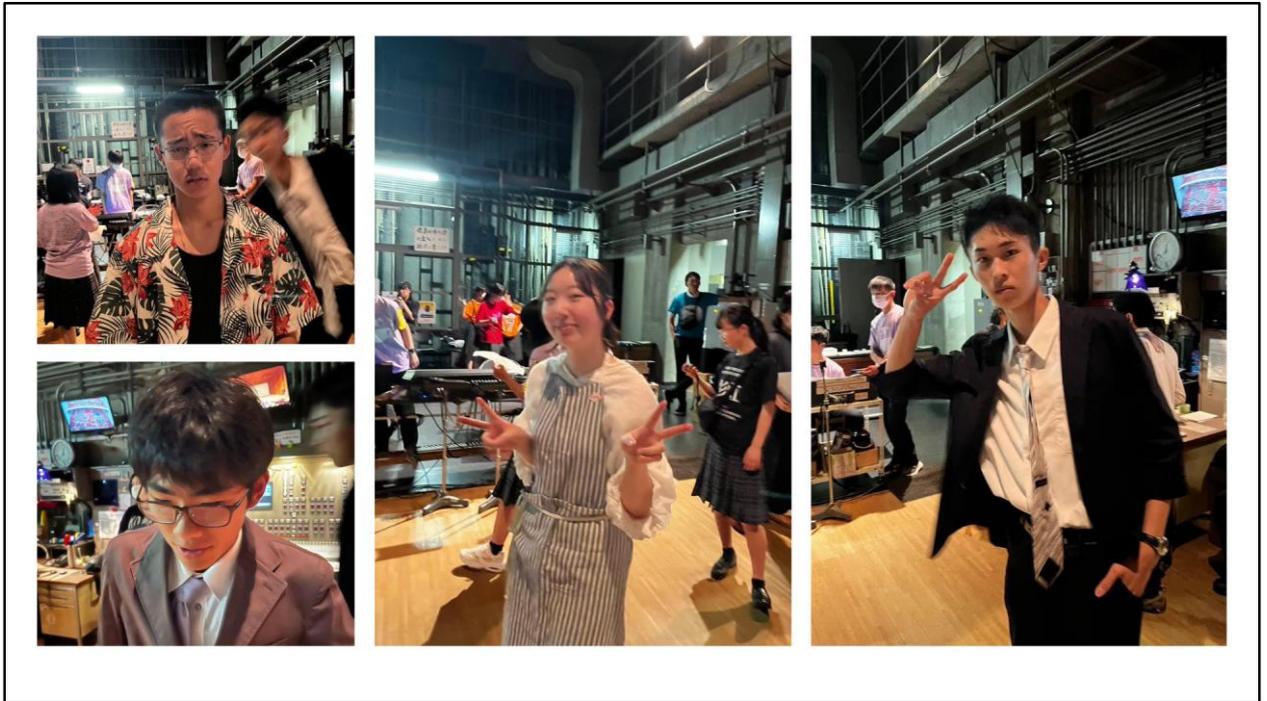
一高祭は計3日で構成されていて、1日目はクラス発表、2日目はクラス企画、3日目は体育祭となっています。

それではまず1日目です。午前中は文化部（吹奏楽部、弦楽部、箏曲部、ダンス部、ア・カペラ部等）の発表、午後は各クラスごとの自由発表（劇など）です。



**1日目のクラス発表ではYCC文化ホールの大ホールを借りて開催します。**

**最初に吹奏楽部、ダンス部、ア・カペラ部など文化部の発表、1年生の発表、2年生、3年生と続いでいきます。**



こちら僕のクラスの発表前の舞台裏です。

# 一高祭 2日目



次に二日目です。

二日目はクラス企画だけでなく文化部の展示や個人での発表などがあります。

また1番自由に行動でき皆さんが想像する学祭って感じです。



自分の特技を披露できる有志によって開催される「みせまshow!」や文化部によるパフォーマンスもあります。



自分たちのクラスの担任副担任の似顔絵コンテストも開かれ各クラスけっこう本気で面白いです。



クラス企画です。クラス企画では各クラスとても個性的で面白い企画を出してきます。ここにはアトラクション系が多いですが、お化け屋敷やクイズ大会のような企画もあります。ここで想像しやすいように動画があるのでご覧ください。



3日目です。

3日目の体育祭は緑が丘体育館を借りて123年生の縦割りのブロックで得点を競い合います。



競技としては大縄やブロック別リレー、借り物競争などの競技を行います。



一高祭ではクラスごとにTシャツを作ります。  
好きなようにデザインするということもありますが、一番の使用用途としては裏に互いにメッセージを書きあうことができます。



こんな感じです！

## 強行遠足

**男子**  
一高→小諸(長野)  
**約104km 24時間**

**女子**  
高根→小海(長野)  
**約42km 9時間**

一高の最大のイベントである強行遠足について紹介します。

男子は学校から小諸の約104kmを24時間で、女子は高根から小海までの約42kmを9時間で歩きます。

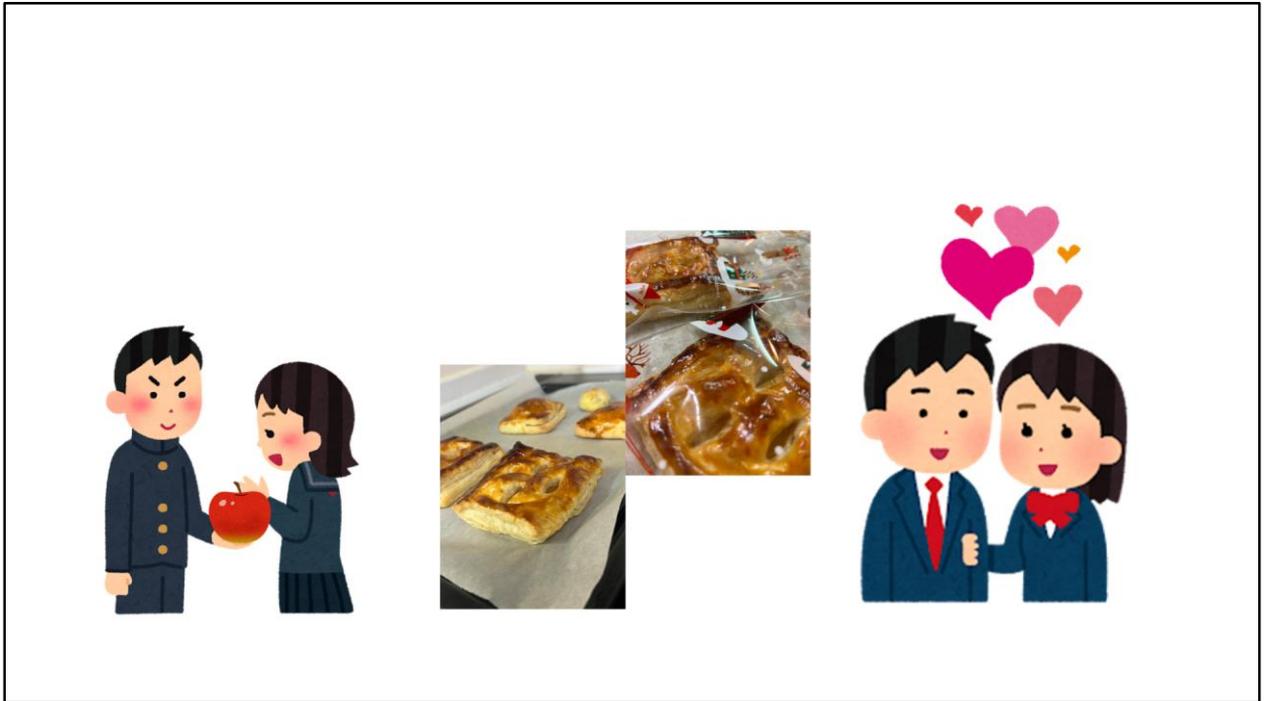
## 強行遠足



また、一高には強行遠足にまつわる素敵な伝統があります。

強行遠足前、女子は男子にお守りを渡します。

それ以外にも、友達と協力しながら歩くことも多いので、とにかく絆が深まる素敵な行事です。



そして男子はリンゴをゴールで貰います。  
そしてそのリンゴをお守りをくれた女の子  
にお礼として渡して、そのリンゴでアップ  
ルパイを作っ て、  
一緒に食べていい感じになるっていう青春  
を味わえるかもしれない伝統があります。

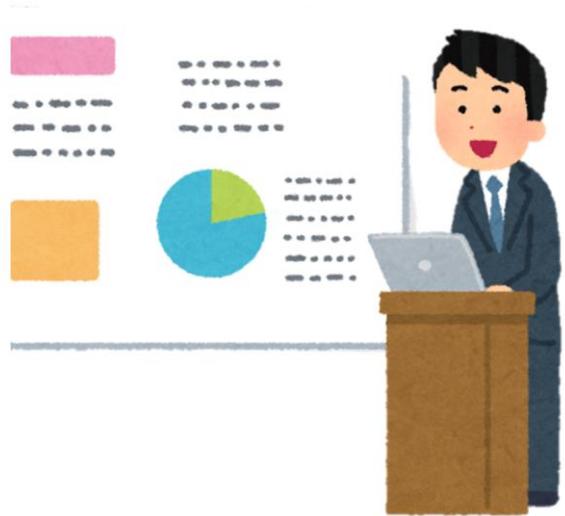


個人的ではなくてもクラスで黒板にメッセージ書いたり、お菓子を配ったりすることもあります。



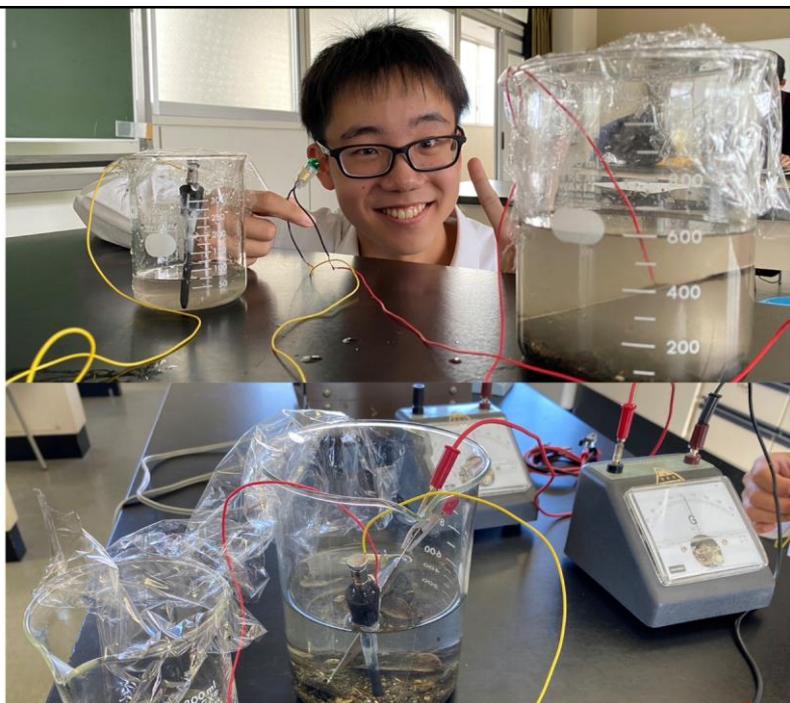
それ以外にも、友達と協力しながら歩くことも多いので、とにかく絆が深まる素敵な行事です！

## 探究活動紹介



これまで探究科について色々な説明をしてきましたが、探究科というには探究を行っているはずですね！  
それでは次に、私たちの探究内容について紹介します。

## 自然科学系



ここからは科学の探究です  
ここに写っているのは、微生物電池班です。  
微生物を使って電池を作るにはどうしたらいいのかを探究しています。毎回実験をしていて楽しそうです。



次は、水生生物班です。一見農業の探究に見えますが、この班は自分たちで田んぼをつくり、従来の水生生物環境を取り戻そうと日々探究をしています。アクティブな活動をしています。

# 社会科学系

Carat



**宝石産業でまちづくり！**

## 遊びの徒



**遊びを通じた子供へのロールモデル提供**

## 農業系



次に農業系の探究班です。  
農業系の班は棚田米を探究する「すいーつ  
ふおーえぶりわん」、富士川町、穂積の柚  
子を探究する「ゆずとも」、農家を推しに  
する探究をしている「Farmony」の3班です。



# スイーツ フォー エブリワン

まず一つ目のすいふおぶはスイーツづくりが大好きな4人が集まって、甲斐市の御領棚田の棚田米を使いスイーツを作る探究をしています。

# ゆずとも



富士川町、穂積の特産であるゆずをもっとPR  
するために日々活動をしています。  
ゆずの良さを生かした商品開発を行っています。



# Framony

農家を推しにして県産食品に値段以上の付加価値をつける活動をしています。  
協力してくれる農家さんホームページを作りPRしています。

**ありがとうございました**